

伊藤 謙一 議員

全国メロンサミットの

成果は

問 反響を呼んだ同事業の各種実績及び経済効果を伺う。

答 イベントサミットは、約4万人に御来場いただいた。3000玉を超えるメロンが販売され、総売り上げは1100万円となっている。途中で商品が売り切れる店舗が多く、事業としては大きな集客力と、消費喚起力を持った事業だったと実感している。

問 本市のクラウンメロンの未来をどう考えるか。

答 情報交換により産地間の連携も少しずつ見え、クラウンメロン、夕張メロンのトップブランドのコラボレーション等の販売方法の検討も可能性ができた。今後、更にクラウンメロンの魅力を国内外に発信し、まちの勢いや市民の誇りの醸成につなげていきたい。



魅力発信が期待されるクラウンメロン

観光インバウンド事業は

問 遠州三山を活用した外国人観光客を取り込む事業が計画されているが、その内容は。

答 遠州三山自分巡礼の旅について外国人向けに台湾、韓国、中国の言葉に加え英語でチラシやホームページを作成するとともに、観光看板にQRコードをつけ、情報検索ができる環境整備を進めたい。また、主要観光施設にWi-Fiを整備したい。

岡本 幹男 議員

図書館の機能強化を

問 ハイブリッド図書館の機能として有効である、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスへの加入はどうか。

答 課題解決型支援機能の充実を図ることが可能となるもので、できるだけ早い時期に必要な機器等を導入してサービスを提供していきたい。

弁財天川及び前川の

河川改修を

問 掛川市のレベル1津波想定高が1m上がった。対岸の弁財天川堤防のかさ上げと昭和水管の耐震化はどうか。

答 県は必要堤防高が7mに変更されたことから、堤防のかさ上げと対策工法の検討を進めている。昭和水管の耐震化も県に要望していきたい。

指定管理者制度の運用は

問 指定管理者制度によって運用されている福祉施設など33施設について、一般市民への運用状況の情報開示は十分か。

答 今後は、所管課のモニタリングに基づく中身や評価についても市民の皆様へ報告し、適切な運営ができていくかお知らせして改善につなげていきたい。



袋井図書館の受付カウンター